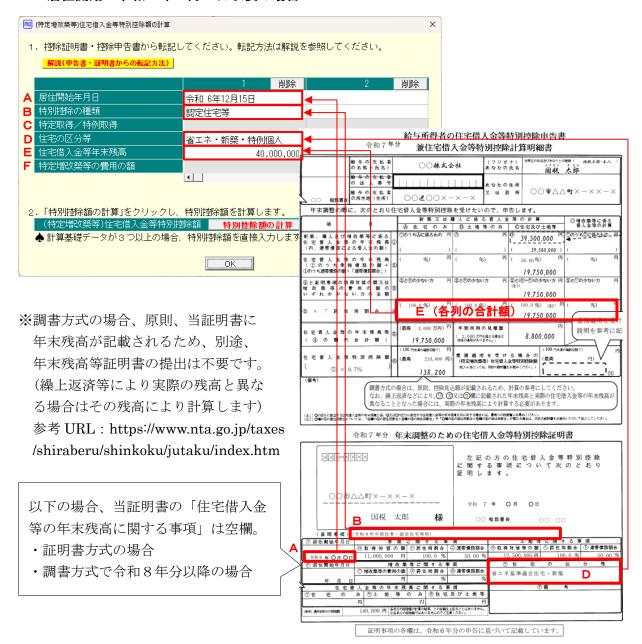
<解説>住宅借入金等特別控除の申告書・証明書からの転記方法

目次

- 1. 居住開始:令和 6年 1月 1日以後の場合
- 2. 居住開始:令和 5年 1月 1日以後の場合
- 3. 居住開始:令和 4年 1月 1日以後の場合
- 4. 居住開始:平成31年 1月 1日以後の場合
- 5. 居住開始: 平成30年12月31日以前の場合
- ※控除申告書・証明書のイメージは、国税庁ホームページ「給与所得者の(特定増改築等)住宅借入金等特別控除申告書兼(特定増改築等)住宅借入金等特別控除計算明細書の記載例」から抜粋したものです。

なお、当記載例では、連帯債務の場合の申告書の記載方法、借換えの場合の注意点も説明されています。 記載例URL: https://www.nta.go.jp/publication/pamph/gensen/nencho2025/pdf/308.pdf

1. 居住開始:令和6年1月1日以後の場合



【「特別控除の種類」(B)の入力】(証明書のBを参照)

行	証明書の「(証明事項)」右部の表示内容	「特別控除の種類」の入力
1	(令和6年中居住者用)	通常の特別控除
2	(令和6年中居住者・特例居住用家屋用)	通常の特別控除
3	(令和6年中居住者・認定住宅等用)	認定住宅等
4	(令和6年中居住者・認定住宅等(特例認定住宅等)用)	認定住宅等
5	(令和6年中居住者・震災再取得等用)	震災再取得等
6	(令和6年中居住者・震災再取得等(特例居住用家屋)用)	震災再取得等

【「住宅の区分等」(D)の入力】(証明書のDを参照)

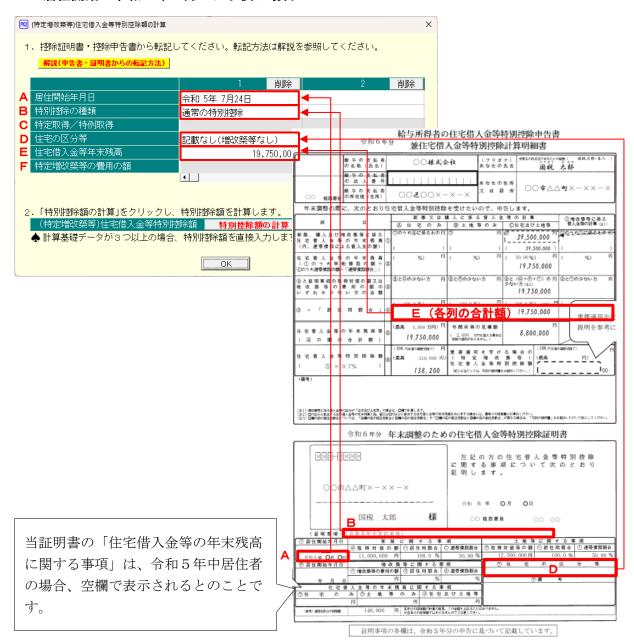
①証明書の「住宅の区分等」欄に記載がない場合(空欄の場合) 「増改築等か否かにより、選択が異なります。

行	証明書の表示内容		「住宅の区分等」の入力
11	「住宅の区分等」欄	「(リ)増改築等の費用の額」欄	「住宅の区分等」の八月
1	記載な) (空場)	21 掛わ1	証明書に記載なし(「(リ)増改築
1	1 記載なし(空欄) 記載なし	等の費用の額」 なし)	
9	記載なし(空欄)	記載あり	証明書に記載なし(「(リ)増改築
	〒L	等の費用の額」 あり)	

②上記①以外の場合

証明書の「住宅の区分等」欄の表示内容のとおりに入力(選択)してください。

2. 居住開始:令和5年1月1日以後の場合



【「特別控除の種類」(B) の入力】(証明書のBを参照)

行	証明書の「(証明事項)」右部の表示内容	「特別控除の種類」の入力
1	(令和5年中居住者用)	通常の特別控除
2	(令和5年中居住者・特例居住用家屋用)	通常の特別控除
3	(令和5年中居住者・認定住宅等用)	認定住宅等
4	(令和5年中居住者・認定住宅等(特例認定住宅等)用)	認定住宅等
5	(令和5年中居住者・震災再取得等用)	震災再取得等
6	(令和5年中居住者・震災再取得等(特例居住用家屋)用)	震災再取得等

【「住宅の区分等」(D)の入力】(証明書のDを参照)

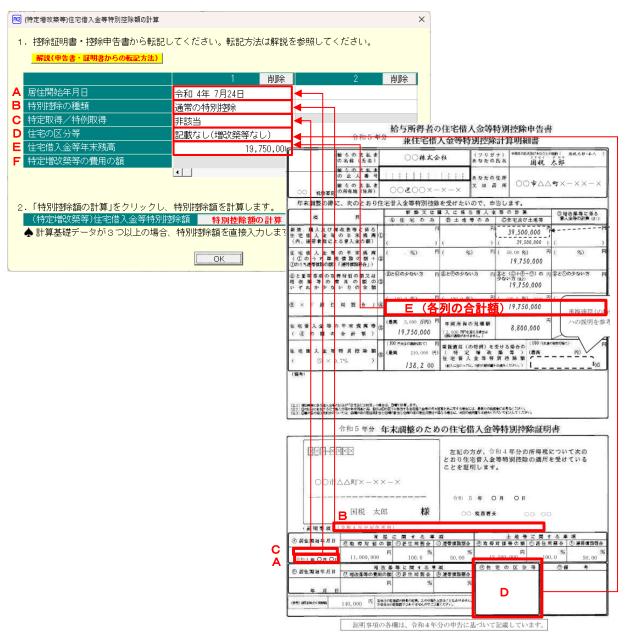
①証明書の「住宅の区分等」欄に記載がない場合(空欄の場合) 「増改築等か否かにより、選択が異なります。

行	証明書の表示内容		「仕字の区八笠」の11
	「住宅の区分等」欄	「(リ)増改築等の費用の額」欄	「住宅の区分等」の入力
1	記載なし(空欄)	記載なし	証明書に記載なし(「(リ)増改築 等の費用の額」 <mark>なし</mark>)
2	記載なし(空欄)	記載あり	証明書に記載なし(「(リ)増改築 等の費用の額」 あり)

②上記①以外の場合

証明書の「住宅の区分等」欄の表示内容のとおりに入力(選択)してください。

3. 居住開始:令和4年1月1日以後の場合



【「特別控除の種類」(B) の入力】(証明書のBを参照)

行	証明書の「(証明事項)」右部の表示内容	「特別控除の種類」の入力
1	(令和4年中居住者用)	通常の特別控除
2	(令和4年中居住者・特例居住用家屋用)	通常の特別控除
3	(令和4年中居住者・認定住宅等用)	認定住宅等
4	(令和4年中居住者・認定住宅等(特例認定住宅等)用)	認定住宅等
5	(令和4年中居住者・震災再取得等用)	震災再取得等
6	(令和4年中居住者・震災再取得等(特例居住用家屋)用)	震災再取得等

【「特定取得/特例取得」(C)の入力】(証明書のCを参照)

行	証明書の「(イ)居住開始年月日」のカッコ書き	「特定取得/特例取得」の入力
1	記載なし (空欄)	非該当
2	(特別特定)	特別特定取得
3	(特例特別特例)	特例特別特例取得

【「住宅の区分等」(D) の入力】(証明書のDを参照)

①証明書の「住宅の区分等」欄に記載がない場合(空欄の場合)

「増改築等か否かにより、選択が異なります。

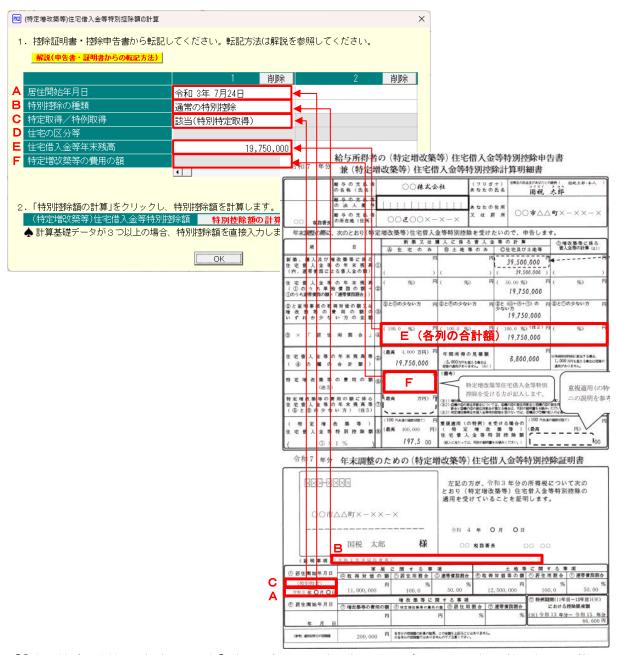
行	証明書の表示内容		「仕字の区八笠」の11
	「住宅の区分等」欄	「(リ)増改築等の費用の額」欄	「住宅の区分等」の入力
1	記載なし(空欄)	記載なし	証明書に記載なし(「(リ)増改築 等の費用の額」 <mark>なし</mark>)
2	記載なし(空欄)	記載あり	証明書に記載なし(「(リ)増改築 等の費用の額」 あり)

②上記①以外の場合

証明書の「住宅の区分等」欄の表示内容のとおりに入力(選択)してください。

4. 居住開始:平成31年1月1日以後の場合

「住宅の区分等」欄(D)の入力は不要です。



【「特別控除の種類」(B)の入力】(証明書のBを参照)※年は令和3年居住開始を例に記載

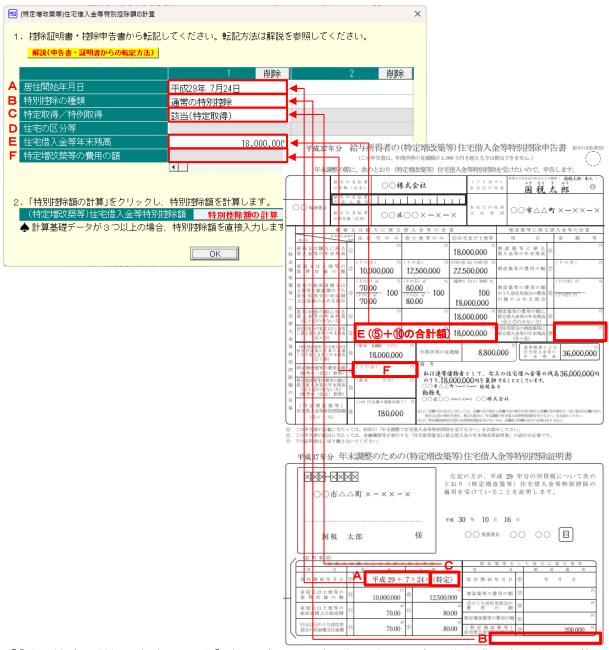
行	証明書の「(証明事項)」右部の表示内容	「特別控除の種類」の入力
1	(令和3年中居住者用)	通常の特別控除
2	(令和3年中居住者・認定住宅)	認定住宅(長期優良·低炭素)
3	(令和3年中居住者・特定増改築等住宅借入金等特別控除用)	特定増改築等の場合
4	(令和3年中居住者・震災再取得等用)	(震災)住宅再取得等の特例

【「特定取得/特例取得」(C) の入力】(証明書のCを参照)

行	証明書の「(イ)居住開始年月日」のカッコ書き	「特定取得/特例取得」の入力
1	記載なし(空欄)	非該当
2	(特定)	特定取得
3	(特別特定)	特別特定取得
4	(特例特別特例)	特例特別特例取得

5. 居住開始:平成30年12月31日以前の場合

「住宅の区分等」欄(D)の入力は不要です。



【「特別控除の種類」(B) の入力】(証明書のBを参照)※年は平成26年居住開始を例に記載

行	証明書の「(証明事項)」右部の表示内容	「特別控除の種類」の入力
1	(平成 29 年中居住者用)	通常の特別控除
2	(平成 29 年中居住者・認定住宅)	認定住宅(長期優良·低炭素)
3	(平成 29 年中居住者・特定増改築等住宅借入金等特別控除用)	特定増改築等の場合
4	(平成 29 年中居住者・震災再取得等用)	(震災)住宅再取得等の特例

【「特定取得/特例取得」(C) の入力】(証明書のCを参照)

行	証明書の「(イ)居住開始年月日」のカッコ書き	「特定取得/特例取得」の入力
1	記載なし(空欄)	非該当
2	(特定)	特定取得

以上